



研究部会報告

●待ち行列●

・第127回

日 時：5月17日(土) 14:00~16:30

出席者：30名

場 所：東京工業大学 本館1-94号室

テーマと講師：

- (1) 「Transient behavior queueing theory: The role of the fundamental matrix」

Julian Keilson (Rochester Univ.)

連続時間マルコフ連鎖の fundamental matrix とは、推移確率行列を時間に関して(極限行列を差し引いてから)積分したものと定義され、様々な特性量を表現するうえで重要な役割を果たす。本講演では fundamental matrix の基本的な性質と初通過時間解析等への適用について広範囲にわたり解説した。

- (2) 「A study on stability analysis for high-speed networks based on statistical physics」

会田 雅樹 (NTT)

大規模高速通信網におけるグローバルな評価量としてスループット(転送中の総データ量)を考え、それを統計力学とのアナロジーからマルコフ型モデルにより定式化した。さらにその定式化を用いて、一方が不安定(時間と共にスループットがゼロに近づく)、もう一方が安定である2種類の分散型フロー制御網の挙動を現象論的に表現した。

●ファジィ動的計画法●

日 時：6月16日(月) 18:00~20:00

場 所：EDC ビル会議室

テーマと講師：「ファジィ・ストップングについて」

安田正美 (千葉大学)

従来の確定的な決定問題をファジィ化することがいろいろ考えられている。ここではいわゆる停止時刻問題を議論する。動的なファジィシステムにおいて、ファジィ利得をもつ停止時刻問題を定式化し、最適なファジィ停止時刻を構成する。基本的にはよく知られたアルファカットによる方法をもちい、議論を展開した。

この理論的な結果に対する正当性を示すために数値例も与えた。

●イノベーション●

・第14回

日 時：6月7日(土) 14:00~17:00

出席者：8名

場 所：中央区立 八丁堀区民館

テーマと講師：「イノベーションのための人間行動」第1回 上田 亀之助

人間は必要に応じたいろいろなイノベーションを考え出しますが、それを実現させるためには、それを人間行動として実行に移さなければなりません。そこで、イノベーションのために、人間活動の多くの分野における人間行動の生態を検討してみることにいたしました。

会 合 記 録

6月10日(火) 機関誌編集委員会	10名
6月13日(金) 40周年記念事業企画推進委員会	16名
6月26日(木) 表彰委員会	7名

●平成9年度会費納入のお願い(事務局)

平成9年度の会費請求書をお送りいたしましたので、お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、8年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成9年度から預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局までTEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

●預金口座振替をご利用の方へ(お願い)

従来、振替手数料として、学会費に206円を加算させて頂いておりましたが、ご案内のように4月から消費税が5%に引き上げられました。これに伴い、振替手数料も210円に変更となります。何卒事情ご賢察の上、ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会